

広 報

# なかつえ



丸蔵小学校にて

### 〈人口と世帯〉

4月末現在  
( )内は前月比

人口 1,968人( - 7 )  
男 970人( + 3 )  
女 998人( - 10 )  
世帯数 566戸( + 4 )

### 〈行 事〉

〈5月〉	
30日 消費者の日	5日 環境週間 (~11日)
〈6月〉	
1日 水道週間(~7日) かけ崩れ防災週間 (~7日)	6日 川開き釣り大会 計量記念日
4日 歯の衛生週間 (~10日)	20日 父の日 22日 夏至

82/

5月号

No.218

# 歴史と観光地がイッパイ

## 国道四四二号のドライブ

四月一日から小国―栃原―鯛生―矢部―八女市を結ぶ、県道八女小国線が、国道「四四二号」に昇格しました。

この国道昇格運動は昭和四十年四月から、大分、福岡、熊本の三県が一致して進めてきたもので、運動をはじめてから実に十七年目にしてやっと「国道昇格」

が、実現したものです。

四四二号は大分市を起点とし、終点大川市まで延長百六十八キロメートルに及び、三県、五市、七町、三村をとりぬけています。

沿線には名曲荒城の月を生んだ岡城、久住、瀬の本の高原、黒川のいで湯、津江杉の美林、鯛生金山遺跡、日向神ダム、水郷柳川など

があり、歴史と観光に恵まれた国道です。

平松大分県知事は、柳川が生んだ詩人「北原白秋」と、竹田が生んだ作曲家「滝廉太郎」を結びつけ、「北滝ロマン道路」と呼んでいます。またこれがかきつけとなり、竹田市と柳川市が姉妹都市の縁組みをするなど、国道昇格で沿線の結びつきが一段と強まっています。

九州地図を広げてみますと、中津江村は北部九州の中心にあります。中津江を中心にした半径五十キロメートルの円を描くと、その中に大阿蘇、瀬の本高原、熊本空港、熊本市、久留米市などがはいるという、非常に良い位置にあります。しかし、これまで道路事情がわるかったため、山奥

不便なところ、というイメージしかありません。でも

国道がとおり、改良が進めば、どこからも近いところどこへも抜けられるところとして、交通の要衝になること間違いありません。「国道四四二号」昇格を機に竹田市から八女市までドライブし、沿線の紹介をすることとしました。

### 岡城に

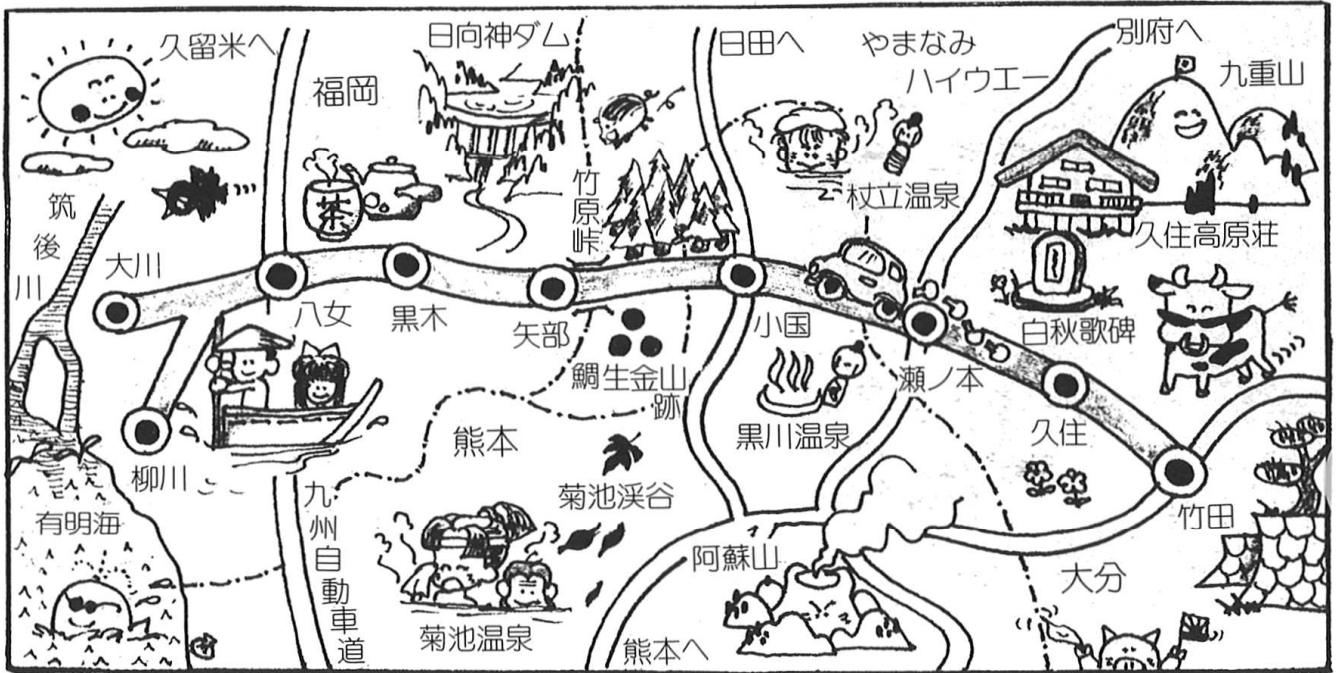
### 滝廉太郎をしのぶ

スタートは、竹田市のシンボルとなっている岡城から、城は切り立った峰に築かれ、高い石垣が名城の名残りをとどめています。本丸跡に滝廉太郎の鋼像

と土井晩翠の歌碑が並んで建っています。名曲「荒城の月」の作曲で、岡城も竹田市も全国に知られることとなりました。竹田駅では列車の着くたびにこのメロディーを流しています。トンネルをくぐって竹田市に別れ、久住町に向いませまく、早く改良をして欲しいところです。県内一周駅伝では遠坂君が頑張ったとこだな、と思いながら車を進めます。次第に視界が広がってきます。晴れた日なら祖母、傾の山々が見えるのですが、あいにくかすんでいてわかりません。久住町役場に寄り観光パンフレットなどをもらいます。町全体の案内図や法華院温泉、など四種類のほか、芹洋子さんの写真入り「坊がつる讃歌」の楽譜ももらいます。久住は高原の町で畜産が盛んで、県の畜産試験場もあります。みじかい町並みをとおりすぎると、右手に古刹「猪鹿狼寺」(イカラジ)があります。源頼朝が富士の巻符をお



岡城の石垣



こなうにあたって、巻狩の故実を阿蘇大宮家にならいに、梶原景季、仁田忠常を派遣しましたが、その練習を久住山麓でおこない、このときの獲物の供養を久住山の寺でおこない、寺号も猪鹿狼寺と改めた、となっています。

ここをあとにして、久住高原の雨ふり峠では北原白秋の歌碑をたずねてみました。

草深野  
ここに仰げば  
国の秀や  
久住は高し  
雲を生みつつ

### 白秋歌碑

### 雨ふり峠に建つ

歌碑のまわりは公園になりツツジが美しく咲いていました。

瀬の本高原



熊本との県境近く、あざみ台に立つと目下どこまでも久住、瀬の本の両高原が広がっています。そのさきには大阿蘇が見えるはずですが、あいにくと霞んで見えません。しかし心が洗われる思いでしばし景色にみとれました。

ここから道路は一路下りとなります。瀬の本で九州横断道路を横切り、熊本県にはいるとすぐ、国道四四二号、南小国町瀬の本の標識が立っています。そのういえば大分県側には一本も立っていないかったな、何となく両県の道路に対する取組みを感じ、黒川温泉へ途中一キロおきくらいに国道の標識が立っています。

### 小国―栃原間は 三三七号と重複

黒川温泉は、九州横断道路ができてから大きく発展しました。川筋に古い旅館がならび、国道ぞいに大きなホテルが建っています。黒川からしばらくは道幅がせまく、ときどき離合のため待合せをして小国へ、小国町役場へ寄って町勢要覧と、観光案内図をもらいます。小国と津江は古くからのつきあい、川辺や野田校区の古い人たちはほとんどが小国へ買い物に行っていたようです。

小国から栃原までは、さきに国道となっていた三三七号とかさなっています。この間もところどころ改良されていますが、まだ道幅の狭いところが多く、早く改良してもらいたいと思います。



中津江村役場前の  
国道442号昇格の横断幕

栃原の入口には「祝国道昇格四四二号線」の横断幕が、中津江村によって掲げられています。栃原は上、中津江の中心地で、建設省によってゲートボール場、公園、グラウンドの整備がされ、現在は村によって温泉ボーリングも進められています。五十八年には老人福祉センターも建設され、栃原地区は福祉、レクリエーション地域として発展させてゆくこととなります。

小中学校の先生たちが泊りがけで研修に来ることとなります。運動場では十二・三人のおとしよりが元気にゲートボールを楽しんでいました。

### 梶原景季が

### 築いた伝来寺の庭

引野からは対岸に伝来寺の銅板葺の大屋根が、赤銅色にかがやいて見えます。

伝来寺は延元三年（約六五〇年前）に長谷部信雄が大智禪師を迎えて開基したもので、このとき兵藤山を大智禪師に寄進したと

されています。伝来寺縁起によると、はじめ曹洞宗に属し、慈雲山林泉寺と号して、栃原村の東辺にあったが、山城守重光が同寺の弟子となり、ついで住職に進み、慶長九年（一六〇四年）一月八日重光の「田ノ原」の宅地に寺を移し、今日に及んでいます。

伝来寺庭園は建久四年（一一九四年）、久住の猪鹿狼寺で獲物の供養をした梶原原景季、仁田忠常が鎌倉への帰途、津江山に信連をたずね、信連が守護していた以仁親王の王子を慰めるために庭を築いたのが、現在に残る庭園です、そのあと庭の一部に寺を建てたので、寺の床下にも庭の名残があるという事です。（中津江の文化、「伝来寺と庭園」長谷部秀丸氏記述から引用）

### 津江茶の伝統に

### とろくむ生産組合

伝来寺と黒谷川をはさんで向いあう位置に、みごと

### 竹原峠からの鯛生



みしめました。中津江役場前にも「祝国道昇格四四二号線」の横断幕がはられています。これを入れて写真を一枚パチリ。新聞地橋では藤蔵谷と梅野谷、さらに鯛生川の三つが合流し、兩岸はそそり立つ断崖が高くそびえています。藤蔵谷を見ながら松本清張氏の「西海道談綺」の藤蔵谷の一節を思い出します。

### 西海道談綺にでる

### 「藤蔵谷」

な茶園が広がっています。津江茶の伝統を再びとりかえようと、十年前から取組み、松野洋、石鞍弘、石鞍勝見の三氏が井干原茶生産組合をつくって、今年は工場も約一千万円をかけて増設し、一日約二トンの処理能力をそなえました。

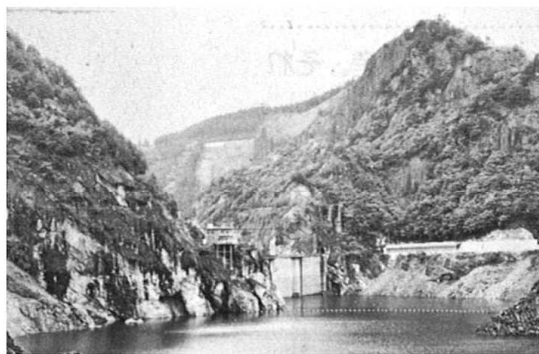
日田市に直売店も出し、上々の評判で、たちまち売り切れ、これからはもっと生葉を集めたい、と嬉しいヒメイを上げています。ここで新茶を一服いただき、すばらしい香りと味で、あらためて津江茶の良さをか

『藤蔵谷は、石建峠（九一〇メートル）から出た水源が溪流となり間地に至るおよそ二里で、その北側は切り立った断崖の連続となっている。とくに北から流れる梅野川の谷、西から奔る中西川の合瀬谷と二つが合するあたりは数大の絶壁の集合である。いま、向井平三郎が地面が断崖の上で切れているという浜島の言葉を聞いて、そりや藤蔵谷だ、と叫んだのは、彼もこの付近の地形

を知っているからだ。 「まことに話に聞く藤蔵谷でございませうな」

浜島も溪谷を蔽う霧の下に鳴る川音を澄まし、あたりの山容を眺めてうなずいた。」

西海道談綺は、鯛生金山を日田代官の隠し金山とし、それをさぐりに来た幕府の隠密と、代官をあやつる陰の人物や掛屋とのたたかいを描いたもので非常に面白く、近くテレビ化されることとなっています。本は中央公民館にも備えてありますので、ぜひ皆さんに読んでもらいたいと思います。



日向神ダム

鯛生に着く手前、左手に城跡かと思ましがう石垣がつらなっています。旧鯛生金山の戦前の精錬所跡で、いかにスケールが大きかったかをうかがわせます。道路はここから竹原峠まで一路上りとなり、金山へ入る交差点の左に「鯛生園芸組合」が常設の花木販売所を開いています。ツツジが花をつけていますが、シヤクナゲはもうすぎっていました。

### 坑道の整備も

### すすむ鯛生金山

金山がどうなっているかちよつとのぞいてみます。交差点から三百メートル、坂を登りきった左手の一段高いところに、広いグラウンドとゲートボール場がすでに出来ています。

坑道入口前の広場には、いくつも大型の機械がおかれ、整備やペンキ塗りがおこなわれています。坑道もあらかたの整備が終り、第一タテ坑の巻上機や鉱車の据付けがおこなわれています。坑外の管理棟やレスト

ハウスなどは七月ごろから着工の予定となっています。西海道談綺の最後は坑外で山伏同志の闘いがくりひろげられ、坑道内では悪人の主領が爆薬をしかけ、山ごと潰して自分も死んでゆくことになっています。来年四月のオープンのときは歴史ゾーンに、この西海道談綺のいくつかのシーンを紹介することとしています。

ふたたび四四二号にもどって走りだします。竹原峠の上りは三分の二ほどが改良されています、途中から鯛生をふり返ると目下に小学校や鶏舎が白く見えます。

竹原峠をやや福岡県側に下ったところへ、高さ二・五

米はある石柱の境界標がたっています。至大分一三二、九〇三米、至福岡九五・七〇一米と刻まれています。

矢部村役場に寄って、村勢要覽と観光パンフレットをもらいます。若い娘さんの丁寧な応対が気持ちよい。矢部川ぞいに下ってゆくとやがて日向神ダムにでます。あいにくと水位を下げていて、満々と水をたたえたところを見ることはできませんでしたが、大岩壁のつらなる日向神峽に作られたエンテイの上に立つと、両側に岩壁がそびえたち、見あげる者を威圧する感じがです。

エンテイのある位置は黒木町内になっており右岸上流に天戸岩、けほぎ岩など

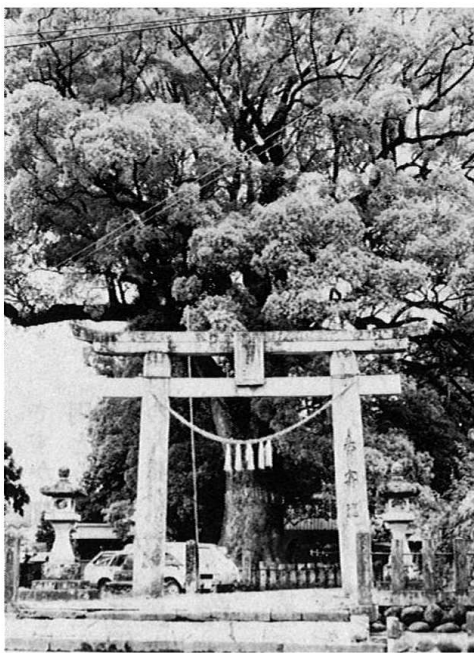
大岩壁や奇岩がつらなり四季を通じてながめのよいところとなっています。

### 黒木町に

### 「津江神社」

黒木町には広い境内と四〇米の高さに達する大樟をもつ「津江神社」があります。四四二号の右わきに車の中からでも見る位置にあります。黒木町にどうして津江神社か、と由来記を見てみると、一一六七年黒木城主源助能が大友氏のため津江山浦に閉じこめられたとき、「無事黒木城に帰城できたときは、津江宮を黒木庄中の宗廟としてお祀りします」と願をかけ、帰城できたので津江宮の神霊をうつして、津江神社と名づけたとあります。

黒木から八女市までは九、五キロ、両側に田園風景が広がっています。竹田市から八女市まで一三キロを二日にわたっての旅でした。四四二号の国道昇格をキッカケとして沿線の一層の発展を願いながらドライブを終りました。



黒木町の津江神社

# 特産農業

## さらに充実向上を

名前だけの特産、それでは意味がありません。それをいかに生かすのか、実のあるものにしていくのか、特産イコール得産とするために。



加工場  
休む暇もないほど

四月、五月は田植えの準備、お茶摘み、シイタケのコマ打ち、さらに近年、ハウスが導入され、農業計画も急変しつつあり、農業経営者の方にとって、大変忙しい時期となります。

これからの農業を考える場合、一般的にいわれるのが量よりも質の向上、また、生産物の一次加工、いわゆる一・五次産業の充実など、消費者の要求にあわせた農業のあり方がうたわれています。

本村の農業、数多い問題に対処しながら、さらに……

### タケノコ



### 竹林の改良を

津江農協中津江支所の加工場では、四月十三日からタケノコの缶詰加工がおこなわれ、五月中旬までに百二十トンを集荷、加工場の

能力限度八十トンを農協で加工、三千四百缶の缶詰を製造し、残り四十トンは福岡県の加工業者へ転売しています。

今年のタケノコ買入れの価格は、キロ平均当り七十五円ですから生産者の方への支払いは九百万円になります。農協で加工した八十トンについては、原料代が六百万円、製品販売予定額は一缶三千円から八千円程度

ですから、平均を四千五百円とみて千五百三十万円、その差九百三十万円、その大部分は賃金として地元の人の手に渡ることとなります。

タケノコの生産の元となる猛宗（もうそう）竹林は七十五ヘクタール以上の面積がありますが、実際にタケノコ生産を目的として肥培管理されているものは、その一〇％程度であり、まったく利用されていない竹林もかなりあります。肥培管理のよく行き届いた竹林では、十アール当り一トンから一・五トンのタケノコがとれるので、全体の竹林を改良すれば、現在の取扱い量の七倍から八倍に伸ばすことも可能だし、上津江村にも五十から六十ヘクタールの竹林があるので、農協の取扱い量は十数倍になります。ということは米、しいたけに次ぐ産物となり得る作目で、一度間伐を行えば、後は施肥と堀取り、更新間伐ですみ、稲を作るよりも簡単な管理で所得を増すことができる有利な作目です。

タケノコの集荷が計画的に増加する見込みがあれば、市場や消費者の評判も大変よいので、加工場の規模を拡大して、加工による利益を加え村内の方々に返していく計画です。

### シイタケ



### 優良品の生産

最近の食生活は、消費者の嗜好の変化、多様化、また共稼ぎ等の増加により、主婦の家事省力化、外食産業の増大等によって、調理が簡便で内容の豊富なものへと移行してきました。したがって、水戻し等で手間のかかる乾しいたけなどは敬遠され、生しいたけ、ナメコ、しめじ、エノキなど、多様化した調理にマッチするきこの類の消費が伸びているようです。

しかし、健康食品としてはやはり根強い消費をもち輸出品としても高い地位を占めており、また五十五年

入賞者の表彰  
さらに向上をめざして



花木即売会  
価値ある花木づくり

からの生産過剰による安値の中にあっても、優良品の価格は安定して取り引きされている現状です。

こうした中で、椎茸生産者の日頃の努力の成果を一同に会し、品質ならびに技術の向上を期するため、五月十一日に津江農協では、第一回の椎茸品評会を川辺体育館で開催しました。

津江農協合併後のはじめの品評会で、両村からおよそ六十点が出品され、きびしい審査のもとに優等三点、他二十二点が入賞されました。本年度は、全体的に作柄が悪かったようですが、春こ市場では平均価格も上昇しており、生産者のみなさんには優良原木の確保、ホダ場の改良等の実施とともに、収穫時期、乾燥技術などの技術を研究し、さらに所得の向上につとめていただきたいと思います。

なお、本村の入賞者は次のとおりです。(敬称略)  
。優等：原部義広・岩釣正登・川内正義  
。一等：穴井初美・高倉三治・井上照通・岩釣正登  
。二等：栗原光成・永瀬源

似・石川幸男・合谷弘光・穴井初美・高野ハナ子  
。三等：赤星三男・長谷田実・永瀬章・清水健吾・水野吉弘・高原重俊・栗原光成・穴井初美・石川幸男  
(優等三点は県の品評会に出品されます)

### 花木



### 良い苗木づくり

満開直前の二メートルに近いシャクナゲが二万円、ナント市価の約半価、福岡に帰る途中の人が、隣村で四千元で買ったシャクナゲをくらべてみて、同じものがここでは二千元、とボヤキながら買いたしてゆく。  
四月二十四・二十五日に開かれた、鯛生園芸組合(組合長高村国弘さん、組合員二十名)の年に一度の大売出しでの一コマ。  
シャクナゲ、ドウダンツツジ、ナナカマド、ブナ、しだれモミジ、ツツジなど約千点のほか、津江茶、シ

イタケなども出している植木市、今年で四回目になるがまだ宣伝不足で、村内の方にも、もう一つ知られていないのが残念、値段は昨年よりさらに安くして、他の植木市より半値となっている。とにかく良い品で安く、鯛生園芸組合を知ってもらおうと、組合員二十名が一生懸命になっている、組合長の高村さんも皆をよくまとめ、奥さんたちも加勢にかけて、お茶やジュースのサービスに努めている。村長も二万円(?)のドウダンツツジを買った、と売約済になっている。二十四日のひるで百何十点かを売り上げて、先づは順調な出だしを見せている。  
組合は五十四年八月から金山入口の左側に常設の販売所を開設して、花木や特産品の売上げに努力している。

良い苗木づくりに精出しながら、金山観光のオープンにも期待をかけて頑張っている、ということである。  
**嗜好の変化に 対応を**  
また、五月一日から三日まで、下釜ドライブイン広場で農協の花木部会が、花木、盆栽の展示即売会を開催、連休とあって北九州、熊本、日田市等から多くの来客でにぎわいました。  
出品された中でよく売れていたのは、自家用車のお客が多いせいとか、二・三千元程度の小さなものが売れ、また山菜も即売され、大変好評を得ていました。  
ここ三、四年、花木、盆栽のブームが高まり、エビネラン、シャクナゲなどは引張りが強い。  
現在、一般の嗜好が大物から小物(ハチ物)に変化したつつあり、それに対応する花木づくり、商品価値のある花木づくりが要求されています。今後、さらに部会を充実してもらいたいものです。

# 日常の生活から村づくり

## —社会教育関係団体連絡協議会—

四月十七日、中央公民館において社会教育関係団体（青年団・婦人会・PTA）の代表者および各支部老人クラブ・各生活改善センター、各地区集落センターの代表者の方々が集まり、社会教育関係団体連絡協議会を開催されました。

染のない言葉でしようが、青年団、婦人会、PTAと列挙すれば、その活動からおおよその内容は理解していただけると思います。今回の会議は、これらの団体が個々に活動するだけでなく、その活動の中に村づくりに対する共通意識、目標をもって、具体的な実践活動をおこなわれました。

まず、会議の冒頭で村長より「本村における村づくりの現状について」ということで「産業面における村づくりは一村一品運動の取り組みにより着々と進んでいるが、精神面における村づくりは進んでいるとは言えないので「村づくりは、まず人づくりから」という精神的側面からの村づくりに取り組もう」という提言がありました。また、教育長より「社会教育の中で村づくりをどのように進めたらいいか」ということで、「村づくりの基本構想を支えるものは心であり、その実践活動として、あいさつ運動と美化運動に取り組み

う」という提言がありました。この二つの提言を受けて出席者の間で活発な意見交換がなされ、本村には村章、村花、村木といったシンボルマークがないが、今後必要になってくるのではないかと、「道路の空カンを拾っても、それを入れるものがないので、ゴミ箱を道路に設置したらどうか」等積極的な意見が出されました。そして、具体的な実践活動としてあいさつ運動と美化運動に、全村あげて取り組むことが改めて確認されました。

まず、できることから  
あいさつ運動は、明るいあいさつをかわすことで、精神の浄化にもつながり、また思いやりの心をはぐくむことにもつながります。美化運動においても、昨年は村内美化運動ということで、三回ほど道路の空カンを拾いをみなさんにお願いしましたが、来年から鯛生金山の地底博物館が一部オ

### 子ども会育成指導者 研修生募集

子ども会の成人リーダー養成のため、次のとおり子ども会育成指導者の研修生を募集します。

- ▲主催 日田郡地教委連絡協議会・日田郡連合PTA
- ▲参加対象 PTA会員以外の成人男・女
- ▲年間回数 4回（7月・8月・11月・2月）
- ▲会費 1,000円
- ▲申込先 6月19日までに教育委員会までお申し込み下さい。

ープリンすることになれば、観光村としての本村のあり方がクローズアップされることになります。

あいさつ運動も美化運動も、日常の生活の中で誰にでもできることですが、それができていないのが現状ではないでしょうか。大義名文をかけた村づくり運動を叫んでみても、実行できないならばそれは机上の計画で終わります。そうならないためにも私たちは、まずできることから取り組み、必要があるのではないのでしょうか。

その意味においても、あいさつ運動や美化運動への取り組みは、ほんのささいなことかもしれませんが、精神的側面からの村づくり

運動を進めていく上で、必然的に重要になってくるのではないのでしょうか。

また、村づくり、地域づくりは、自分の子や孫のためにやるんだ、ともよく言われることですが、このように将来的な展望にたち、村づくり運動が進められる必要があると思われま

願わくば、この社会教育関係団体連絡協議会のような会合（寄り合い）が、各地区、部落で盛んにおこなわれることを期待します。

そして、村づくり、地域づくりが絵にかいた餅ではなくて、地についた確かなものになるために、私たちは今、これからどうしたらよいか考えてみる必要があるのではないのでしょうか。



# 川辺簡易水道が完成

## 四月一日より給水がはじまる

川辺地区に簡易水道施設が完成し、四月一日より給水事業がはじめられました。この事業は、生活環境の改善、公衆衛生の向上、地域住民、公共施設の飲料水等、生活用水不足の解消、また、防火施設の整備充実を目的としたものです。

従来、この地区の飲料水等の日常生活は浅井戸をもつ家庭も一部ありましたが、ほとんどの家庭は表流水に頼っており、そのため水量

が少なく、渇水期、梅雨期には大変困っていました。特に小学校及び教員住宅はその障害がひどく、また同地区に大分大学地域教育研修施設の建築により、さらに飲料水等の供給を確保する必要がで、簡易水道を布設したものです。

川辺簡易水道は、川辺地区の一般家庭、公共施設に給水するもので、計画給水人口百二十人、一日平均給水量三十立方メートル、一日最大

給水量四十八立方メートルの規模を持つ施設です。

主要施設の概要は次のとおりで、水源は深井戸による地下水で、掘さく口径二百五十ミリ、深さ七十六メートルの井戸です。浄水は次亜塩素酸ソーダ水溶液を注入、滅菌をおこないます。



配水池は鉄筋コンクリート造りで、有効容量六十六・四立方メートルあり、停電等により揚水がとまっても二日間間は水道が止まらない規模としています。

また、併せて防火施設を充実させるため、消火栓を

四基設置し、初期消化に十分役立つよう設置しています。

事業費総額は、およそ三千二百四十一万八千円で、国・県補助金及び年金積立金還元融資を受け、この施設が設置されたものです。

## “農業者年金” 経営移讓年金とは

農業者年金の加入者には、受取る年金に二つの種類があります。

一つは老齢年金で、六十五歳から一律に支給されるものです。もう一つは、経営移讓年金といって、経営移讓をした場合に限り支給されるものです。

この場合は、自分名義のすべての農地の権利を後継者か、第三者のいずれかに処分してしまい、農業経営から引退することです。ただし、引退した日からさかのぼって、一年前の日に三十アール以上の農地があることが必要です（本人と世帯員名義の農地が四十アール以上ないと、農地法第三

条の許可が受けられませんので注意してください）。これらの農地とそれ以後に取得した農地があれば、それも含めてまとめて処分しなければなりません。

経営移讓年金は、六十歳以前に処分した場合には六十歳から、六十歳から六十歳までには処分した場合はその時から受けられます。もちろん六十五歳を過ぎてからでは給付されませんので注意してください。

贈与税は、農地の生前一括贈与する場合、実値上、贈与税を納めずに済む税制上の優遇措置がありますので、過重な贈与税や相続税に悩まされずに済みます。



### 教育次長

### 合谷和寿さんが死去

4月20日、教育次長の合谷和寿さん（川辺）がなくなりました。穏便な性格で、誰からでも信頼されるとともに、大変な努力家として人望厚い次長でした。

合谷次長は、昭和29年4月1日に産業課土木係として勤めて以来、28年間という永きにわたって奉職。この間、住民課福祉、年金係、税務課課税係等を経て、昭和48年に教育委員会事務局に出向、昭和55年4月1日に教育次長に就任、津江中学校の統合、鯛生小学校の改築などの業績は高く評価されています。

故人のご冥福をお祈りいたします。



▲山の安全を祈願して  
食うが勝ち!!  
▶すわる所もない。



# 山開き

## 400人でにぎわう

五月五日、子どもの日に津江山系県立自然公園、渡神・酒呑童子連峰の山開きがおこなわれました。今回で十一回目となるこの山開き、多少マンネリ気味で年々参加者が少なくなり、今年は場所を酒呑童子山のふもとのスパー林道ぞい駐車場に変更、村内はもとより、熊本、大分、田市など、県内外からの登山者もあり、およそ四百名の参加者で酒呑童子山はにぎわいました。

この日は天候にもめぐまれ、家族づれ、地区のグループの方が多く、和気あいに登山を楽しみ、なかには七十才以上の高令者の方も、まだまだ山登りは若いものには負けぬと、額に汗をうかばせながら元気に登っていました。

午前十時三十分より登山者の安全、山火事の防止を祈願して神事をおこない、このほか、福引大会では一等から五等まで百五十本、次々と呼ばれる当選番号にため息、歓声が山々にひびいていました。なお一等の賞品（時計）は、八所の岩釣由美子さんが見事射止めました。

また、焼き肉食べ放題であまりにも参加者が多かったため、食いはぐれた方もちらほら、それでもマイペース、この時とばかり、飲み食いだめをした方もいるみたいでした。

今回は、福引、焼肉等を十分に用意して、さらに新しい企画を考え、みなさんに喜んでもらおうと、主催者からのお詫びとPRを最後に。

### ◆調理師試験準備講習会

調理師試験準備講習会が次のとおりおこなわれます。

▲日時 六月七・八日九時から十六時三十分迄。

▲会場 日田商工会議所

▲受講資格 寄宿舎、学校、病院等の飲食物を調理して供与する施設。または飲食店、喫茶店、魚介類販売業、そうざい製造業において、二年以上の調理の実務に従事した者。

▲受講料 四千五百円（資料含む）

その他、詳しいことについては役場保健衛生係までお問い合わせください。

### ◆川開き釣りに大会に参加を!

第十一回津江川開き釣りに大会が、中津江村観光協会主催で、六月六日、日曜日におこなわれます。

各賞、賞品を多数用意

していただきますので、腕じまんの方はふるってご参加ください。

▼受付 午前六時から

栃原グラウンドで

▼参加料 三百円

### ◆大分県電気工事士試験

昭和五十七年度大分県電気工事士試験が、次のとおりおこなわれます。

▲試験期日 七月十八日・十月十七日

▲試験場所 大分県立日田林工高等学校

▲受付期間 六月一日から六月十一日まで

その他詳細について、また、受験票等については、役場産業課へおたずねください。



# 資産の移動には

## 税金の

### 準備を忘れずに

土地や建物などの資産を譲渡されたときは、その譲渡所得に対して所得税が課税されます。

ところで、この課税を受けた方の中には税金が滞納になるケースが目立ちます。その原因としては、譲渡所得が商売をされている方などの事業所得のように毎年繰り返し発生するもので

はなく、土地・建物などの資産を譲渡されたときにしか発生しないので、この譲渡所得に基づく税金の納付

についてはなじみの薄い方が多く、そのために税金のことを深く考えないまま、土地や建物などを買い換えたり、負債の弁済に充てたりして譲渡代金を使い果たしてしまつたためではないかと思われま

す。しかも、土地・建物などの譲渡は金額も大きく、それだけに税金も相当な額となり、それを一時に納付する必要が生じるためではないかと思われま

す。と督促をはじめ財産差押

えなどの法的措置がとられるとともに、本来の税金のほかに年利一四・六パーセント(日歩四銭)という高率の延滞税を余分に納めなければならなりません。このように税金を滞納されま

す。と督促をはじめ財産差押えなどの法的措置がとられるとともに、本来の税金のほかに年利一四・六パーセント(日歩四銭)という高率の延滞税を余分に納めなければならなりません。このように税金を滞納されま

牛乳はタンパク質、脂質、糖質、灰分、カルシウム、ビタミンA、Bを含む、大変栄養価にすぐれた飲物です。これらは、日本人に多いといわれる胃ガンも、常に牛乳を飲む人では発生率が少ないという報告があります。

現在、乳製品にはいろいろな工夫がなされて、中年向きの低脂肪乳、高脂肪の濃縮乳、牛乳アレルギーの

### 保健婦メモ

### 牛乳を考える



人向きのラクトレスミルク、ビタミンAを豊富に含むバターとクリーム、タンパク質、脂肪、カルシウム、ビタミンA、Bを多く含むチーズなどさまざまな製品があります。

それぞれ、自分の必要性に応じた乳製品を摂取されることをおすすめします。少なくとも牛乳は1日1本飲みたいものです。

### ◆郡体・応援をよろしく

今年も六月から七月にかけて、日田郡民体育大会がおこなわれます。

村を代表して出場する選手にあたたかい応援をお願いします。

- ▲六月六日：野球(津江中グラウンド)・ソフトボール(大山町農民広場)・軟式庭球(東溪中グラウンド)・射撃(日田スキー射撃場)
- ▲六月九日：ゲートボール(大山町農民広場)
- ▲六月十二日：ポリング(アストロボール)
- ▲六月二十七日：剣道(大山町B.G.体育館)・卓球(天瀬町中央公民館体育館)・バドミントン(津江中体育館)・バレーボール(東溪中体育館)
- ▲七月十一日：陸上(大山町農民広場)・柔道(大山町B.G.体育館)

### ◆子どもを水の事故から……

毎年五、六月になると、いたましい子どもの水難事故が目立ってふえます。

子どもの水の事故は、四季を問わず一年中発生していますが、とりわけ夏場がピークです。例年まず六月に幼児の沼地や用水堀での事故が目立ち、次いで七月、八月の夏休みに入ると、小・中学生の海や河川などの事故がふえてきます。

子どもたちの水の事故は、そのほとんどが、本人はもちろんのこと、保護者のちょっとした油断や不注意によるもので、それがとりかえしのつかない事故につながっています。親は常に子どもの身になって、「危険」を見抜く用心深さがほしいものです。子どもは、とくに幼児の場合、自分で「危険」かどうかの判断はできません。子どもを水の事故から守ってください。

# ボクが



# 村長だったら!

がいいんじゃないかと思っています。パンダなどをおいたら、食料の竹をさいばいする仕事もできるし、もうじゅうなどのエサの肉をふやすため、ちくさんの仕事もできると思います。それに観光バスの運転手、店を出すのでその仕事もできるし、レストランもいるので、たくさんの方が仕事をできると思います。それに動物も住みやすいだろうし、観光客もたくさんくると思うので、ぜひ、じつこうしたいです。

もう一つは、つり客が多いのでこれを利用してみたいです。川にそってレストランやつり具売場などもつくりたいです。つり客が川におちないように、かんりする人もやといたいです。

中津江には、あまりぼくたちの遊び場がないので、道路の交通を何時間かストップして、そこでぼくたちが遊べたらと思います。

そして、中津江村の特産品をもっと多くしたいです。たとえば、つくし、ふきのとうなどを人工さばいしてふやしたいです。それから、できないかもしれないけど、中津江村の数少ない平地を利用して、太陽ねつ発電所などをつくって、少しでも村のくらしをらくにしていきたいです。

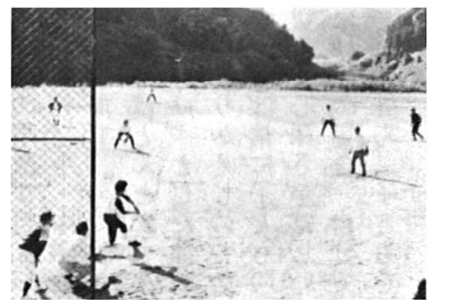


丸蔵小六年  
川内英紀くん

ぼくがまず村長になったら、すばらしい自然を利用して、人のためになるようなことをしたいです。たとえば、都会の人に多い、はいきガスで悩んでいる人を、中津江に大きな病院をつくらせて静養させてあげたいです。いい空気も吸え、きつとよくなるでしょう。

中津江村の欠点は、仕事が少ないことだと思います。だから仕事を多くしたいです。ぼくは動物園

フトボール大会。6チームが参加、役場Aが優勝。11日、ナイターで郡体予選ソフト。今年から各町村2チームが郡体に出場できることとなり、支部代表4チームが参加、結局、丸蔵と川辺チームが郡体の出場権を獲得、県体出場をめざします。13日、これまた郡体出場をかけたゲートボール大会。郡体に5チームが出場できるとあって熱戦を展開、結局郡体出場は鯛生A・B、丸蔵B・川辺・栃原チームが獲得しました。



あたたかくなると、どこのグラウンドでもスポーツの花ざかり。ここで、4・5月におこなわれた各大会、行事の紹介、優勝チームを簡単に。

まず4月11日、上津江村との職域野球大会、4チームが出場し、中津江村役場チームが優勝。この大会、今年のはじめての試みであり、今後は愛好会と称し、春、秋に年2回開催すること。19日、ゲートボール大会。これは栃原公園の公園開きを兼ねたもので、主催はゲートボール協会、男子5チーム、女子4チームが参加、優勝は男子が鯛生、女子は引野・原部。29日、年代別支部対抗ソフト、40才以上(3チーム)、40才未満(4チーム)での対抗で、ともに丸蔵が優勝。

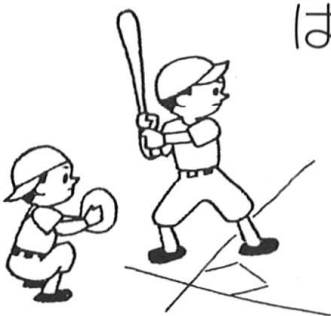
5月にはいり、9日、職域ソ



グラウンドは

スポーツの

花ざかり





高村 耕治ちゃん (S54年12月27日生)  
(綱生・高村 修治さんの二男)

元気に山開きに参加のところをパチリ。ちよつと緊張気味、まわりで笑って、ハイ笑っての声もおかまいなし。

どろんこ遊びの好きなボク、洗剤のコマーシャルには、もってこいようです。

\*\*\*\*\*

何でも上の子どものマネをしたがる、というおマセくん。テレビの音楽で踊るダンサーでもある。剛(ごう)くんは強くならなければ...ということで、この名前をもらいました。でもやさしいでチュヨ。

渡辺 剛ちゃん (S56年1月2日生れ)  
(田ノ口・渡辺友明さんの二男)



## 児童手当現況届を

児童手当の支給を受けている方は、六月一日から三十日までの間に「児童手当現況届」を役場に提出することになっています。現況届は、引き続き児童手当を受けるための大切な手続きです。  
この現況届は、受給者の前年の所得の状況と、六月一日現在の児童養育の状況などを確認するために提出していただくものです。もし、この届けを出さないと、引き続き受給できる資格があっても、六月分以降の手当の支払いを受けることができません。詳しくことは住民課にお尋ねください。

イ

夕

ズ

ラ

ま

か

り

## 父と子

非行少年として補導されたものが、自分の育った家庭を顧みておもしろかったとか、楽しかったということはあまりありません。

さらにくわしく聞くと、家庭での父親がいつも不機嫌でささいなことで怒ったり、むっと黙っていて心の通い合う話など、できなかったといひます。父親が家庭の中で明るく機嫌よく振る舞っているかどうかは家庭全体の空気を大きく左右します。

仕事をもつ父親が身体的、肉体的にもかなり疲れ、いつもニコニコしているようにというのは無理なことかもしれません。しかし、父親は自分の心の状態が家庭の雰囲気に影響することをよく承知していて欲しいと思います。帰宅した父親が機嫌よく心を開いていれば、自然に子どもとの心の交流ができてきます。

父親が不在だから楽しいという家庭よりも、不在だからつまらないという家庭の方に非行少年は出にくいのです。

家庭での父親は、まず機嫌がよく、子どもから好かれていることが必要です。

